

# 【記載例】

(様式第2-1号)

(農地法第4条甲号)

## 農地法第4条の規定による許可申請書

〇〇年〇〇月〇〇日

庄原市農業委員会会長 様

申請者 住所 庄原市●●町123

氏名 庄原 西郎

(名称)

(連絡先 電話番号 (0824) 73-■■■■)

次によって農地を耕作以外の目的に供したいので、農地法第4条第1項の規定により許可を申請します。

### 1 許可を受けようとする土地の状況等

土地の所在 (庄原市)	地番	地目		面積(m <sup>2</sup> )	耕作者氏名	市街化区域・市街化調整区域・ その他区域の別
		登記簿	現況			
〇〇町字××	555	田	田	400	庄原 西郎	その他区域
以下余白						
計		400 m <sup>2</sup> (田 1筆		400 m <sup>2</sup> , 畑	筆	m <sup>2</sup> )

### 2 転用目的等

用途	住宅及び農業用倉庫兼車庫				
工事計画	着工	〇〇年9月10日	完成	〇〇年7月10日	
	名称	棟数等	建築面積等(m <sup>2</sup> )	所要面積(m <sup>2</sup> )	備考
土地造成				500	併用地 宅地 100 m <sup>2</sup>
建築物,	住宅	1	130		
工作物その他	農業用倉庫兼車庫	1	50		

### 条件

- 申請書に記載した用途に使用すること。
- 申請の内容と異なる目的、又は事業計画に変更しようとするときは、あらかじめ農業委員会会長の承認を受けること。
- 工事は、許可の日から 年以内に完了すること。ただし、やむを得ない事情によりこの期間内に工事が完了しないことが明らかとなったときは、あらかじめ会長の承認を受けること。
- 前各号のいずれかに違反したときは、この許可を取り消すことがある。
- 許可に係る工事が完了するまでの間、本件許可の日から3箇月後及びその後1年ごとの工事の進捗状況報告書を翌月15日までに、更に工事が完了したときは工事完了届を、それぞれ現況写真を添付して庄原市農業委員会に提出すること。

## 【記 載 例】

(農地法第4条乙号)

### 3 転用の事由等

転用を必要とする理由	現在の住宅は老朽化し、建替えが必要となっている。近く、長男が帰郷し、同居することになっているので、申請地に住宅及び農業用倉庫兼車庫を建築する。
事業又は施設の操業又は利用期間	〇〇年〇〇月〇〇日から <del>年間</del> 永久

### 4 事業の資金計画

(単位：円)

必 要 経 費		資 金 調 達 計 画	
土地造成費	1,000,000	自己資金	9,000,000
建築費	20,000,000	借入資金	12,000,000
その他		その他	
計	21,000,000	計	21,000,000

### 5 転用することによって生ずる付近の農地、作物等に対する被害の防除施設の概要 別紙計画書のとおり

### 6 その他参考となるべき事項

(1) 関連法令の許認可手続きの状況 (必要な箇所には○をすること。)

農業振興地域の整備に関する法律	○ <b>手続中</b>	○ <b>手続不要</b>
都市計画法	申請中	未申請 ○ <b>申請不要</b>
宅地造成等規制法	○ <b>申請中</b>	未申請 申請不要
その他 (法律名を記入)	申請中	未申請 ○ <b>申請不要</b>

(2) その他 (法令 (条例を含む。)) で義務付けられている行政庁との事前協議が必要であれば、その状況  
申請地は市街化調整区域内にあるが、農家住宅に当たるため、都市計画法の許可は  
要しない。

この申請に関する照会に応答する者の連絡先の住所、氏名及び電話番号

住所	〒☆☆☆-☆☆☆☆ <b>庄原市●●町123</b>	氏名	担当 <b>庄原 西郎</b>
電話番号	(▲▲▲) ▲▲▲-▲▲▲▲ 内線▲▲▲	自宅 <b>勤務先</b> (名称 <b>東西住宅株式会社</b> )	

(注) 1 「自宅 勤務先」は、いずれかに○をすること。

2 照会に応答する者が法人の場合、「氏名」に担当者名を、「名称」に法人の名称を記載すること。